



# 皆様の「快適な暮らし」のヒントに すまい造りメール

第162号 2015年9月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成27年8月28日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
http://www.sano-k.net/  
info@sano-k.net

## あったかいんだからあ♪

暦の上では秋ですが、いまだに残暑が続き体力を消耗させます。今年の夏も記録尽くめの猛暑でした。夏の風物詩のセミでさえも炎天下の暑さを避け夕暮れから鳴きはじめるようになりました。そのセミの中で、シュワシュワと大きな声で鳴くセミを見つけようになりました。このセミはクマゼミで、南方系のセミであるため、生息数は西日本地域に多く、諸説ありますが、日本列島における北限は箱根と言われていました。ところが、地球温暖化やヒートアイランドの影響からか、どうやら箱根を越えて関東各地で急増しているようです。



「あったかいんだからあ♪」

複戸で見つけた4匹のクマゼミ

平成3年のリフォーム工事以来、主に外装工事や住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回は、経年劣化が原因で雨戸の開閉が困難になったため、既存のサッシはそのまま、木製の雨戸と敷居・鴨居、戸袋をアルミ製の雨戸一筋に交換し、外壁の一部を補修する工事です。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

既存の庇はそのまま残し、外壁の補修が最小限になるように既存の雨戸や戸袋を取り外し、ルーバーの雨戸と戸袋を取り付けました。「片手でスムーズに雨戸の開閉ができるようになり、楽になりました」という感想をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



## よこすか産業まつり

11月7日(土)・8日(日)に三笠公園で開催される横須賀市最大のイベント「よこすか産業まつり」にペーパークラフト教室「みんなde街づくり」を出展します。

今年で7年目となります。Episode7のテーマは歴史を活かした街づくりで、鍛入れ式から150周年を迎えた横須賀製鉄所「ARSENAL D' IOKOSKA」にタイムスリップしながら街並みや景観を考へて、サイコロキャラメル空き箱を使って、自分でデザインした住まいを配置して、みんなが住みやすいように、歴史を活かした街づくりをしていただきます。



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます  
創業 1960.1.20. Next50  
創刊 2002.4.1.

## Oppama 風物詩

追浜周辺で、季節を感じるような自然や風景、イベントをご紹介します。



「金沢文庫芸術祭」

海の公園で子供から大人まで一日中みんなでアートやパフォーマンスを楽しめる野外フェスティバルが開催されます。自分たちで作った衣装に身を包み、太鼓に合わせて行進するサンセットパレードは必見です。

1DAYイベント  
9月20日(日)9:30~20:00  
(2011年9月19日撮影)

## ほそく だそく 補足&蛇足



鍛入れ式から150周年の横須賀製鉄所に関するイベントやシンポジウムが開催されています。弊社でも節目となる2015年は、その意義と果たした役割、歴史を活かした街づくりについて再確認したいと思います。



井上吉隆著「横須賀製鉄所物語」は好評につき増刷しました。詳しくは弊社までお問い合わせください。



皆様のひつじとなって  
お役に立てるように  
心掛けます



52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀市の変遷やまちづくりのこぼれ話についてお話を伺いました。

「海軍カレーの街よこすか」宣言をしたのは、海上自衛隊横須賀地方総監部田戸台分庁舎（以下「分庁舎」と略す）でマスコミを前に実施しました。分庁舎とはどんな施設でしょうか。私が子供の頃には「長官官舎」と呼ばれなかなか近づき難い施設でした。

分庁舎は『新横須賀市史』によりますと、建坪560平方メートルで大正2年建設の和館と洋館が併設する和洋折衷住宅です。建物の企画設計を担当したのは旧呉市長官官舎を設計した海軍技師桜井小太郎で、ロンドン大学で学び日本人初の英国公認建築士の称号を得た人であると、横須賀地方総監部発行のパンフレット『田戸台分庁舎』で紹介されています。また、パンフレットによれば建物は木造平屋建て、亜鉛葺切妻屋根、イギリス住宅の特徴であるハーフティンバー（柱をそのまま見せて、その間の壁を漆喰等で埋めたもの）を基本にした建物で現在は煉瓦タイル張りになっていますが、もとは下見板張りでした。もっとも美しく特徴的なのは庭園に面したベランダ側で、その景観は素晴らしいものです。和風館部分は二階建てで、階下には二間の和室を備えていて、いずれも簡素で機能的に作られています。

分庁舎は、桜の開花に合わせて一般公開されていますので、是非素晴らしい施設を見学したいものです。

現在所在している旧長官官舎は、『建築保全』第42号によると、横須賀市の他に呉市・舞鶴市だけです。佐世保市のものは昭和20年の空襲で消失しました。呉市のものは明治22年軍政会議所として建設され、明治38年の芸予地震により倒壊し、再建されたものが長官官舎となり戦後「入船山記念館」として公開されています。舞鶴市のものは、地元では「旧東郷平八郎邸」と呼ばれ、明治34年木造平屋建ての質素なものです。アメリカ海軍のニミッツ提督は東郷元帥を尊敬し、昭和51年アメリカ建国200年祭の一環として、生地テキサス州に「ニミッツ提督記念センター」が新築された際、元帥の強い希望でこの東郷邸の書斎と庭園をそっくり模して造ったと言われています。また、元帥は戦後來日した折に「記念館三笠」を訪れ、甲板上の構造物が取り払われ荒廃した姿を見て、『文藝春秋』に一文を寄せ記念艦の復興されることを願い、原稿料をその基金に寄付するとともに大いなる協力がなされ、「三笠保存会」の設立へと繋がり、記念艦も現在の姿に復元されました。



「カレーの街」宣言が行われた田戸台分庁舎

(元横須賀市助役 井上吉隆)

## 鉄は熱いうちに打て

皆様の「快適な暮らし」のサポートとなることを目的としてスタートしました「すまい造り工房」は、今回で19回目を迎えます。今回は、今年で鋳入れ式からちょうど150周年を迎える横須賀製鉄所の歴史とその後の日本の近代化において果たした役割、そして、歴史を活かした街づくりについて一緒に考えたいと思います。お忙しいこととは存じますが、ご家族やお友達をお誘い合わせの上、ご参加ください。

皆様の「快適な暮らし」のサポートができましたら幸いです。詳しいお問い合わせは、弊社までご連絡ください。（土曜・日曜を除く、平日の10:00～17:00）

### 第19回 すまい造り工房

#### 「鉄は熱いうちに打て」

日時 平成27年10月10日(土) 10:00～13:30  
スケジュール 第1部 講演 横須賀市産業交流プラザ 第2研修室

横須賀製鉄所物語



井上吉隆

9:45 開場

10:00 開会 オリエンテーション

10:10 講演「横須賀製鉄所物語」井上吉隆様

11:30 講演終了 汐入桟橋に移動

第2部 クルーズ YOKOSUKA 軍港めぐり

11:40 汐入桟橋にて乗船手続き

12:00 出航（周遊時間約45分）

12:45 帰航 ヴェルニー記念館に移動

第3部 見学 ヴェルニー記念館

13:00 ヴェルニー記念館を見学

13:30 ヴェルニー公園散策 解散

募集人員 15名（小学生以上・先着順で締め切ります）

会費 1,500円（第1部+第2部+第3部）

### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2015」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店

TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索